

エコアクション21 環境経営レポート

2019 年度

(期間：2019 年 7 月 1 日～2020 年 6 月 30 日)

発行日：2020 年 9 月 30 日



株式会社 **マイスター**

<http://ymeister.co.jp>

目 次

1. 組織の概要	3
①事業所概要	
②エコアクション 21 推進体制（組織図）	
2. 認証・登録の範囲	5
3. 環境方針	6
4. 環境経営目標と実績	7
5. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	10
6. 環境計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容	12
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	14
8. 代表者による全体評価と見直し・指示	15

1. 組織の概要

①事業所概要

1) 事業者名及び代表者名

株式会社マイスター

代表取締役社長 高井 糧

2) 所在地

本社工場及び第2工場 〒991-0061 山形県寒河江市中央工業団地 156 番地 1

横浜営業所 〒225-0013 神奈川県横浜市青葉区荏田町 1150-42

※ 第3工場（寒河江市中河原 127-1）は現在稼働していない

3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者（代表取締役社長） 高井 糧

連絡先 電話 0237-86-4500（代表） FAX 0237-86-0252

URL <http://ymeister.co.jp>

E-mail somu@ymeister.co.jp

4) 創立年月日

1976 年 7 月 1 日

5) 資本金

3,600 万円

6) 事業内容 精密機械部品及び切削工具加工製造

切削工具加工部品、特殊工具加工部品



精密治工具製造、精密機械部品製造

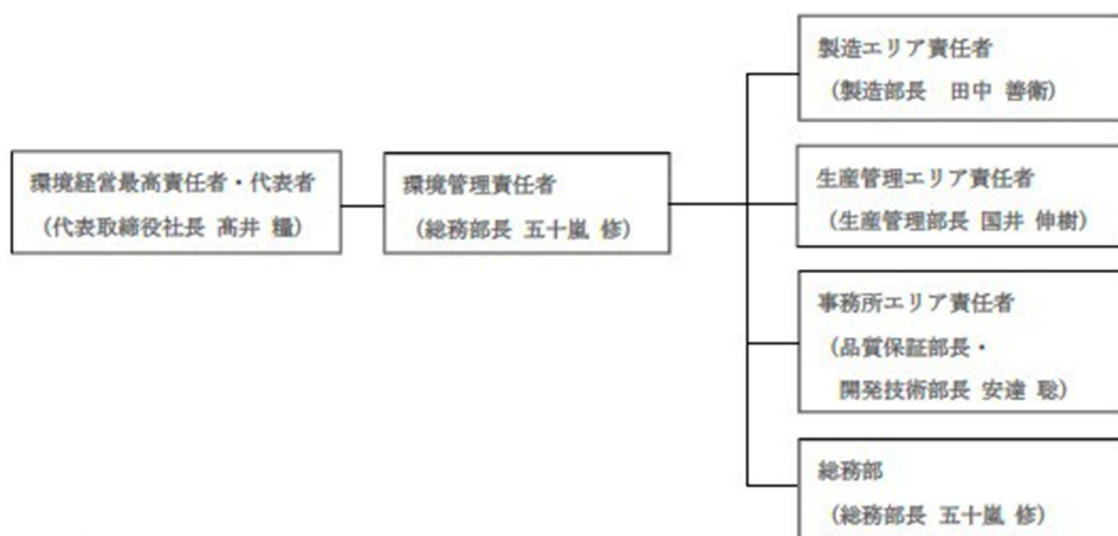


7) 事業規模

	単位	2017 年度 2017.7.1～2018.6.30	2018 年度 2018.7.1～2019.6.30	2019 年度 2019.7.1～2020.6.30
総売上高	百万円	993	1,071	861
月平均売上高	百万円	83	89	72
従業員数	人	74	81	84
延べ床面積	m ²	4,248.53	4,248.53	4,248.53

②エコアクション 21 推進体制（組織図）

【(株)マイスター 環境マネジメント組織図】



● 役割、責任、権限

環境経営 最高責任者 (代表取締役 社長)	環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。当該責任者には、現在の責務に関わりなく、責任と権限を明示する。
	環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営所資源（人材・資金・機器設備・技術技能を含む）を準備する。
	環境経営に関する基本理念・長期戦略・基本方針を制定し、基本的な環境目標を設定する。
	環境経営システムの構築・運用に関する情報を収集し、方針・目標をはじめ、システム全体の見直しを行い、必要あれば改訂を指示する。
環境管理 責任者	当社代表者（環境経営最高責任者）に代わってガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築・運用し、その状況を環境最高責任者に報告する。
	環境経営に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために、環境経営推進委員会組織を運営する。
エリア責任者	環境経営推進委員会の構成員として、環境経営最高責任者及び環境管理責任者を補佐し、掌括範囲内の全員参画による、環境経営システムの運用と改善を推進する。
	また、自己の管理範囲内において、全員参画による環境経営システムの運用及び管理に責務を負い、部門内の必要な人材育成、パフォーマンスの向上を図る。
部署長	自己の管理範囲内において、全員参画による環境経営システムの運用及び管理に責務を負い、部署内担当者の選任・必要な教育訓練、パフォーマンスの向上を図る。
総務部	記録の作成、管理、システム運用上の事務管理を行う。
全社員	環境経営方針・計画の理解と実施を行う。

2. 認証・登録の範囲

株式会社マイスター

本社工場及び第 2 工場 〒991-0061 山形県寒河江市中央工業団地 156 番地 1

横浜営業所 〒225-0013 神奈川県横浜市青葉区荏田町 1150-42

第 3 工場（現在未稼働） 〒991-0005 山形県寒河江市中河原 127-1

3. 環境経営方針

—— 株式会社マイスター ——

環 境 方 針

<基本理念>

株式会社マイスターは地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、「感謝・還元・久遠の社会」を合言葉に、全組織をあげて環境負荷の低減に努力します。

<行動指針>

株式会社マイスターは精密機械部品及び切削工具加工製造に関わる全ての生産又は消費活動とこれらの製品及びサービスの環境影響を低減するために、環境経営システムにより以下の環境保全活動を推進します。

1. 事業活動の全領域で、安全・安心を図り、省資源・省エネルギー・資源循環・エコライフ・製品含有規制化学物質管理などに配慮したモノづくりを行います。
2. 当社の生産又は消費活動、製品及びサービスに係わる環境関連法規、その他の要求事項を遵守し、環境汚染を未然に防止すると共に、環境経営システムと環境保全実績が継続的に改善できるように推進します。
3. 次の項目を重点的なテーマとして環境目標を設定し、状況に合わせて目標を見直すなどの効果的な取組みを行います。
 - (1) 二酸化炭素の削減
 - (2) 廃棄物の分別・削減及びリサイクルの促進
 - (3) 化学物質使用量の削減
 - (4) 総排水量の削減
 - (5) 工場周辺の清掃等社会貢献
 - (6) グリーン購入の推進
4. 環境保全関連の行政機関・団体等の環境保全施策に協力すると共に、最上川の水環境をはじめ、地域社会の環境保全活動に協力します。
5. 一人一人が環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、社内における環境保全状況の知識・認識の向上を図ると共に恒久的な環境に配慮した経営を推進します。このため、この環境宣言を全従業員に周知し、社外へも公表します。

上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し環境経営システムを推進します。

改定日：2015年4月1日

改定日：2010年7月1日

制定日：2008年7月1日



株式会社 マイスター
代表取締役社長 高井 糧

4. 環境経営目標と実績

●主な環境目標と中期目標、担当部署責任者

No.	重点目標	2019年度 目標	2020年度・2021年度・2022年度 目標	責任者
1	(省エネルギー) 二酸化炭素削減	売上 100万あたりの 排出量 2018年比 1%削減	売上 100万円あたりの排出量 前年比 1%削減	製造部長
2	(廃棄物削減) 産業廃棄物削減	売上 100万円あたりの 廃棄量 2018年比 1%削減	売上 100万円あたりの廃棄量 前年比 1%削減	製造部長
3	(省資源化) 事務用紙使用量削減	2014年割合の維持 (維持目標)	2014年割合の維持 (維持目標)	総務部長
4	グリーン購入 推進	2014年割合の維持 (維持目標)	2014年割合の維持 (維持目標)	総務部長
5	(地域社会との環境調和) 清掃等社会貢献	年2回実施	年2回実施	総務部長
6	(総排水量削減) 水使用量削減	一人当たり水量の管理 (維持目標)	一人当たり水量の管理 (維持目標)	総務部長
7	化学物質使用量 削減	使用ゼロ	使用ゼロ	製造部長
8	リサイクル刃物の回収量	2014年 収集量を維持目標	2014年収集量を維持目標	営業技術 部長

エコアクション21の認証を受け15年目を迎えました。当社では2015年以降より単位当たりの削減率を取り入れた目標を設定し取り組んでおります。その他、維持目標としてエコアクション21の認証以前から当社独自で取り組んできたレアメタルリサイクルの取組も、マイスターらしいあたりまえの活動として継続してまいります。

また、数字として表すことは出来ませんが、会社として社員の健康増進をはかり、健全で働きやすい職場を作ることがひいては環境全体の負荷を軽減しエコに繋がる、という視点を経営に取り入れた『健康エコアクション』に取り組み、健康経営優良法人2020にも選定されております。



【ハウスより植え替えしたビワの木に実がなりました】

● 2019年度目標の達成状況

No.	重点推進項目 (削減目標)	単位	2019年度 目標	2019年度 実績	達成率 %	適合性評価 ○：目標以上 △：80%以上 ×：80%未満
1	二酸化炭素排出量 売上 100万円あたりの排出量 2018年比 1%削減	kg	496.8	574.9	86.4%	△
2	電力使用量 売上 100万円あたりの使用量 2018年比 1%削減	kWh	815.1	1,002.0	81.3%	△
3	灯油使用量 売上 100万円あたりの使用量 2018年比 1%削減	ℓ	8.6	8.3	103.6%	○
4	ガソリン使用量 売上 100万円あたりの使用量 2018年比 1%削減	ℓ	12.3	13.0	94.6%	△
5	産業廃棄物削減（一般） 売上 100万円あたりの廃棄量 2018年比 1%削減	kg	5.6	7.1	78.0%	×
6	産業廃棄物削減（廃金属） 売上 100万円あたりの廃棄量 2018年比 1%削減	kg	1.1	0.9	122.1%	○
7	産業廃棄物削減（廃油） 売上 100万円あたりの廃棄量 2018年比 1%削減	ℓ	2.5	16.5	15.2%	×
8	事務用紙使用量削減（コピー用紙） 2014年割合の維持 (維持目標)	枚	180,000	262,500	68.6%	維持目標
9	グリーン購入 推進 2014年割合の維持 (維持目標)	%	68.6	65.8	95.9%	維持目標
10	清掃等社会貢献 (地域社会との環境調和) 年2回実施	回	2	3	150.0%	○
11	一人当たり水量の管理 (維持目標)	m ³	0.62	0.65	94.9%	維持目標
12	化学物質使用量 削減 使用ゼロ	kg	0	0	100.0%	○
13	リサイクル刃物の回収量 2014年収集量を維持目標	kg	1,579	1,614	102.2%	維持目標

1の二酸化炭素排出量は、平成 29 年度実績の東北電力㈱温室効果ガスの調整後排出係数 0.523 kg-CO2/kWh にしております。



【隣接公園ゴミ拾い・除草・清掃作業】

●環境負荷実績

環境への負荷			単位	2017年	2018年	2019年
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素		kg	540,272	537,460	484,796
② 廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物	最終処分	t			
	産業廃棄物	廃油	t	11	3	16
		最終処分	t			
③ - 1 総排水量	公共用水域		m ³	1,060	630	582
	下水道		m ³			
④ - 2 水使用量	上水		m ³	1,060	630	582
	工業用水		m ³			
	地下水		m ³			
④ エネルギー使用量	購入電力（新エネルギー除く）		MJ	8,537,876	8,668,506	8,287,564
	化石燃料		MJ	811,794	803,836	650,514
	新エネルギー		MJ			
⑤ 製品生産量	その他		t	26.8	23.1	20.2

※購入電力の二酸化炭素排出量は、平成 29 年度実績の東北電力㈱温室効果ガスの調整後排出係数 0.523 kg-CO2/kWh を使用しております。



【会社で取れたトウモロコシ】



【キノコ栽培で木陰となる竹林の育成】

5. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

1. 電力使用量削減

- ①設備電源の空転時停止
- ②工場のエアコン温度・運転の適正管理
- ③休憩時間の不使用箇所の消灯
- ④廊下やトイレの不必要な照明の消灯
- ⑤空調機のフィルターの点検清掃
- ⑥電力測定結果を踏まえ冬季間の空調稼動と機械稼動ピークを調整
- ⑦デマンド計導入による使用電力量の管理
- ⑧第2工場の照明のLED化と、一部有機EL照明の取り入れによる省電力化
- ⑨第2工場の断熱材、断熱シャッターによる保温・遮熱
- ⑩屋外機の冷却対策（庇等）

当社ではセンサー付ライトのトイレ・通路などの共有スペースへの設置、従業員出入口のソーラーライト設置など、エコ対策を取っている。また、電力会社についても常に見直しを行い、温室効果ガス排出量を考えた選定を行っている。

2. 省エネルギー化（灯油使用量削減）

- ①室温設定管理
- ②ウォームビズ・クールビズの励行
- ③夏・冬の省エネ県民運動への参加
- ④食堂スペースをパーティションで区切り食事の際の空調無駄の削除。

事務所エリアの空調は灯油炊きのエアコンを使用しており、灯油使用は、そのスペースに限られることもあり、事務所を中心に取り組んでいる。食堂スペースも、空調のロス避けるため随時パーティションで区切り管理している。

3. 省エネルギー化（ガソリン使用量削減）

- ①寒河江自動車学校より 専門講師を招き、全社員にエコドライブ講習を実施。
- ②アイドリングストップ
- ③エコドライブ項目実施
（携行環境方針にエコドライブ10記載）
- ④燃費の良い営業車への入替



【エコドライブ講習】

4. 廃棄物削減（一般・産業廃棄物）

- ①廃棄区分毎の分別
- ②小まめな分別後の廃棄実践
- ③ゴミ箱の統一と表示
- ④廃棄物の再利用
- ⑤通い箱化の推進
- ⑥梱包資材の再利用
- ⑦ダンボールの回収（リサイクル業者による）

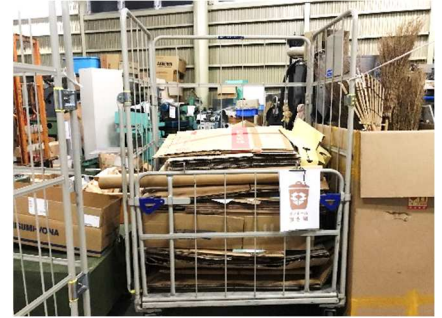


【再資源化のための分類】

可燃物・不燃物と言う分類はもとより、再資源化を強く意識した廃棄物の分類により、ゴミではなく『資源』という認識を持ち、リサイクルの流れを作っている。業者さんも100%資源化を謳う業者さん優先に依頼。また、ダンボールをリサイクル業者による回収に変更し、社員の自宅からもダンボールの持ち込みを推奨するなど、会社だけではなく社員個人の環境活動に役立っている。

5. 省資源化

- ①両面コピーの活用
- ②裏面の再利用
- ③パソコン・電子メールの活用
- ④保管書類のPDF化



【ダンボールの回収】

6. グリーン調達

- ①エコ商品カタログの活用（グリーン商品リストからの購入）
- ②エコ商品への切り替えの推進

同じ使うなら、グリーン商品・環境にやさしい商品を選ぶという視点でエコ商品を選択している。

7. 環境調和

- ①工場周辺の清掃（寒河江市で造成した公園のゴミ拾い草刈り）
- ②最上川水質保全活動・環境に優しい洗剤の継続使用
- ③里山保全活動
- ④屋上緑化
- ⑤敷地内植樹活動
- ⑥廃瓦を利用した駐車場（保水性が高い）
- ⑦地元の原木を利用した休憩スペースの床板
- ⑧緑の募金活動（（公財）山形県みどり推進機構）



【緑の募金】

特に、環境にやさしいといわれる洗剤は、汚れは水に流れ、排水溝の汚れも微生物が分解していくので、ぬめりや黒ずみがつきにくくなる。また、その先の川や海でも、微生物がゆっくりと浄化するので、汚れを落とすだけではないまさに地球を洗う洗剤である。その他にも緑の募金活動も行い、集めた募金は財団により様々な緑化活動に役立てられている。

8. 総排水量削減

- ①手洗い水と洗剤の節約
- ②消雪の自動運転を廃止、手動での稼動に切替える。

手洗い場の蛇口は、殆どがセンサー式のため余分な水を使わない。また、女性トイレには音姫を採用、女性と、水量削減 両面に配慮している。



【会社構内の畑耕作】

9. 生物多様性の保全と利用の取り組み

- ①会社構内の畑耕作と野菜の栽培

6. 環境計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

- 今期は消費電力軽減のための室外機屋根の設置やデマンド計による空調設備の温度管理の徹底等の様々な活動を行い、全体的な使用量の削減を行うことができました。また、電力会社の見直しの検討等のこれまで継続してきた取引を環境の観点から見直すという新たな取組にも着手しました。しかし、目標の達成状況については単位当たりの削減率を取り入れており、昨年後半より続く操業の非効率さによる売上の伸び悩み、更には新型コロナウイルス感染症の影響による営業活動の減少等により、評価については厳しい結果となりました。



【室外機屋根の設置】

- 今期の二酸化炭素削減結果は、売上 100 万円あたり前年比 1 %削減に対して達成率 86.4%と未達となりました。全体的な達成率は電力使用量が 81.3%、灯油使用量については 103.6%、ガソリン使用量は 94.6%と、昨年と比較して多くが未達となりました。全体的な会社の稼働時間は前期と変わりませんが個々の使用量の削減以上の売上の減少が多く項目で未達となった要因と考えられます。しかし、積雪による霜取り運転の減少や直射日光による温度上昇を防ぐための室外機への屋根の設置、燃費の良い営業車への入れ替えなど、使用量の削減のための活動については効果を得ることができました。今後もこれまで続けてきたクールビズ・ウォームビズの徹底、デマンド計導入による空調温度の管理、その他空調設備の入れ替えによる高効率化等の更なる二酸化炭素削減の努力を継続してまいります。
- 産業廃棄物につきましては、一般廃棄物や廃油について大きく未達となりました。一般廃棄物について排出量はほぼ横ばいですが、売上の伸び悩みのため評価は未達となりました。廃油について前期に前倒しで廃棄した分、処分量は少なかったのですが、今期は通常通り廃棄したため処分量の増加となっております。来期以降の対応策として廃油については油水分離を行い、廃油処理量の減少と分離した油の売却による収益化を検討しております。
- 事務用紙使用量については2014年割合の維持目標となっております。ファイルサーバーの導入によりデータの保守による用紙出力の減少に取り組んでいるものの実績は目標を大幅に超えており、削減のための新たな取組を検討する必要があります。
- グリーン商品購入率については維持目標となっております。用品調達担当者がエコ商品の目標管理者となり、必要な消耗品等を購入する際などはグリーン商品マークの付いた物から最優先で購入するという意識を持ち、前年の購入率一覧表を机上に設置する等、責任を持って取り組んでおり今後も継続してまいります。その他、手洗い石鹸に界面活性剤を全く含まない、環境への害がない洗剤を採用しています。
- 社会貢献活動として工場周辺の公道や公園の清掃を行なっています。マイスターでは年2回、会社全体の取組である工場周辺のボランティア清掃活動のほか、新入社員に環境活動への大切さを学んでもらうために入社研修でも工場周辺の清掃を行なっており、エコアクションの取り組みは教育と実践の場となっています。また、マイスターのみの活動ではなく、工業団地周辺

の学校や事業所等と協力して地域環境の美化と浄化として灌水、除草、清掃活動等も行なっており、今後も継続してまいります。

- 工場内緑化のための取組みとして、会社構内に畑を区画し、季節の各種野菜を栽培、社員により耕作から収穫までを行っております。恒例のビアパーティーでは枝豆に加え、トウモロコシ等が振舞われるなど、毎年種類も豊富になってきております。他にもニンニク、聖護院カブ、赤大根、ミニトマト、ししとう、なすなど、会社で収穫した食材を社員に配りました。これらの食材が食卓に並ぶことによって、環境活動としての緑化だけではなく、食による健康意識の向上にも一役買っております。そして、第2工場周りについても新たな植樹を行い、緑化活動も進めております。
- 総排水量については、市水のみでの管理としており、維持目標は2014年を基準として一人当たりの水量の管理を行っております。引き続き維持目標として取り組んでまいります。
- 化学物質使用量の抑制・管理では、社内規定の「含有化学物質管理規定」により、材料の購入から製造、出荷にいたる管理を行い、内部監査により検証をしています。引き続き管理を行い、使用ゼロを継続してまいります。
- 当社から始まった取り組みであるレアメタルの回収については、維持目標という形で目標に組み込んでおります。これは、当社がエコアクション21の認証以前から取り組んで来た分別回収すれば資源、捨てれば金属ゴミと言う思想に、お取引先の賛同を得ている結果であり、今後もマイスターらしい環境への取り組みとして継続してまいります。



【工場内の畑で取れた作物】



【ビアパーティーでは枝豆が振舞われた】



【子供のための工作教室】

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社に適用となる主な環境関連法規

法令等の名称	活動内容	評価
下水道法	公共下水道使用開始届の提出	○
消防法	少量危険物等貯蔵取扱届出書の提出	○
西村山広域行政事務組合火災予防条例		○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	産業廃棄物マニフェストによる管理 産業廃棄物の委託契約の締結 ①産廃物が飛散、流出、地下浸透しない措置をする ②保管場所に掲示板(60cm×60cm以上)	○
特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	家庭用機器の長期間使用とリサイクルのための特定廃棄業者への引渡し	○
使用済自動車の再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法)	自動車の長期間使用と再資源化配慮した購入選択	○
工場立地法	特定工場新設(変更)届出書の提出	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	①対象空調器の簡易点検の実施(1回/3か月)、圧縮機出力7.5kW以上のものついて、定期点検の実施(1回/3年) ②機器更新時に、適正・確実な回収・破壊	○
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)	対象物質の排出量・移動量を把握	○
RoHs指令、ELV指令等 含有化学物質規制	製品への含有化学物質禁止規制	○
国等による環境物品等の調達の推進に関する法律(グリーン購入法)	環境負荷の物品調達の選択	○

(2) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

2019年度において環境関連法規等は遵守しており、違反はありません。
また、関係当局からも特に指摘は無く、過去15年間、訴訟も同様に有りません。

8. 代表者による全体評価と見直し・指示

- 今期は米中の貿易摩擦に始まり、コロナ禍の不況により売上がダウンする結果となり、取組の成果は多くの項目で未達を出すこととなりました。これまで当社では第2工場の稼働に伴い従業員の増員、生産管理部門の立ち上げなど、IoTを活用した高効率な生産を行う土台を作ってまいりました。それに合わせて、労働生産性を上げ効率アップによる稼働時間の削減につなげる健康経営への取組みを行い健康経営優良法人2020の選定を受けたこと、環境の取組みをより自分の事として意識するために全部門が参加する環境委員会を設置し各自意見を出し合い活動を行ったことなど、様々な取組みを行い社員の環境負荷の削減意識を高めてまいりました。今後も現在進めている経営計画による売上の確保、これまで行ってきた工場内緑化や里山活動等、加えて重点推進項目について社員が進捗と改善する内容が見える様にすることで啓発を行い、目標達成に向け取り組んでまいります。
- 当社のエコアクション21の取組みは今期で15年目を迎えました。現在、環境問題への関心は世界的に高まり、これからの世代のために社会全体として向き合わなければならない課題となっています。国際的なSDGsへの取組み、また、国策としての脱炭素への取組み等これまでのような社会奉仕や慈善活動としての環境保護ではなく、企業が本業としてビジネスで取り組むことに大きな意味を持つようになりました。マイスターは切削工具の再研削というリユース・リサイクルの発想から始まり、現在はお客様のものづくりの困りごとを解決する道具を作ることが主となっています。お客様の生産性や付加価値を上げる道具を作ることはお客様の環境、ひいては世界の環境負荷を低減させることに貢献すると自負しております。今後更にSDGs等の目標設定に即した活動を広げ、これまで以上に社会に貢献できる会社として成長していきたいと考えています。
- 現在、コロナウイルス感染症の感染拡大による脅威、また大規模災害の増加等で世界全体が不安を抱えています。そのような情勢の中でも前向きに事業を進め、いざという時会社で働く社員や当社と取引をしている企業にも安心していただけるように環境負荷軽減と災害被害軽減を両立するBCP策定の取組みを進めています。こういった緊急事態をいたずらに恐れるのではなく、新たな取組みを行う好機と捉え積極的に活動してまいります。



【社長就任式での挨拶】

2019年9月16日



【会社での環境活動】

